

降誕前節第1主日・待降節第4主日・アドベント(紫・白)

クリスマス礼拝

(教会学校との合同礼拝)

2025年12月21日 10時20分～

司式： 奏樂：

《神の招き》

前 奏	『高き天より我は來たり』 J.G. ヴァルター 灯火入堂	アコライト：教会学校
招 詞	ゼファニヤ書3章14節	
贊 美 歌	268	

《神の言葉》

祈 祷	アドベントの祈り
聖 書	サムエル記上2章1～2節 ルカによる福音書1章46～55節
子ども説教	・教会学校奉唱『星が光るクリスマス』
交 読 詩 編	詩編98編1～9節
贊 美 歌	259
説 教	「クリスマスの歌をうたおう」
祈 祷	八木浩史牧師
贊 美 歌	271

《感謝の応答》

信 仰 告 白	使徒信条
転 会 式	542
洗 礼	67
獻 金	
祈 祷	
主 の 祈 り	(週報表紙、ホームページ掲載)
聖 餐	81 配餐：

《派 遣》

頌 祝 報 後	39-6
榮 福 告 奏	

「クリスマスの歌をうたおう」

『サムエル記上』では、「ハンナの祈り」が記されています。不妊であったハンナは、主の宮で泣きながら切実な祈りをささげました。すると神はその願いを聴き入れてくださり、ハンナは男の子、サムエルを授かります。サムエルが乳離れした時、ハンナは主の宮にサムエルを連れて行き、祭司エリに委ねてサムエルを神に献げたのでした。その時にハンナは主に感謝して祈ります。

「私の心は主にあって喜び／私の角は主によって高く上げられます」と。サムエルは神に仕える者として成長し、やがてサウルやダビデに油を注ぎ、「油注がれた者（メシア）」として、王に就任させる働きをします。

『ルカによる福音書』の「マリアの賛歌」は「ハンナの祈り」を元にした賛歌であると言われます。不妊であったハンナとは対照的に、マリアは処女であったのに子を宿しました。しかしいずれも神による奇跡です。マリアは寒村ナザレに住み、貧しい大工のヨセフと婚約中の女性であり、当時のユダヤにおいては軽視されていた存在でした。しかし神は人が重視しないような人に目を留められ、大きな働きに用いられるのです。世の人々から軽視され忘れられたような人、悩みを抱えている人、希望を見失っている人、孤独な人、自信を失っている人、生きることに脅えている人…その人自身も、自分を取るに足らない者だと思っていることでしょう。しかし神はそのような人にも愛を注ぎ、幸いな者とするために、神の独り子である主イエス・キリストを送って、救ってくださいます。さあ共にクリスマスの歌をうたいましょう！